



40袋分のごみを回収



綾の里山を守る会(黒木純一
会長)のメンバー・吉田晶子さ
ん(上畑)の呼びかけで、9月13
日に千尋自然公園周辺の清掃
活動が行われました。

ユネスコエコパークまちづ
くり協議会メンバーや町民な

ども含め、総勢16人が参加。清
掃活動は3時間におよび、集め
られたごみは軽トラック2台
分(ごみ袋40袋分)にもなりま
した。

その多くは食品の空き箱・空
き袋、トレーや食べ残し、空き
缶、ペットボトルな

どで、中には花火や
バーベキューセット
もありました。その
ほか、自転車のタイ
ヤや家電製品などが
森の中に不法投棄さ
れており、あらため
て、自然を利活用す
る上でのモラルやマ
ナーについて考えさ
せられました。綾町
の照葉樹林の貴重さ
や自然を大切にす
る取り組みなどにつ
いて、観光客を含め広

く意識啓発を図っていきたく
と強く感じているところです。

ユネスコエコパーク推進室
では、学校や地域住民などを対
象に、自然環境保全や綾の照葉
樹林プロジェクトなどをテー
マにした講座などを行って
います。また、ユネスコエコパー
クの取り組みを紹介したパン
フレットの配布などもできま
すので、ぜひご利用ください。
詳しくはお問い合わせをお願
いします。

■ユネスコエコパーク推進室

☎ 77・3482

URL

<https://ayabrcenter.jp>

※ユネスコエコパークセン
ター休館日/日・月曜日お
よび祝日

column

ケラ

日本では親しみを込めて「オケ
ラ」と呼ばれる昆虫。「手のひらを太
陽に」という歌の中にも登場します。

モグラのようなたくましい前足で
土の中を動き回り、ミミズなどの小
動物から植物までさまざまな物を
食べます。運動量が多く、常に何か
を食べたり水分を取る必要がある
ため、エサの豊富な湿地や田んぼの
そばで暮らしています。土の中に
いるイメージですが、秋にはよく飛ん
で外灯に集まっています。天敵も多
く、鳥やほ乳類にエサとして食べら
れています。

地上も地下も自由に動き回るオ
ケラですが、農薬の使用や湿地・水
田の減少などにより、国内外でその
数を減らしているのです。

